

令和2年度 第3回学校協議会 会議録

1 日 時 令和3年3月26日(金) 18時30分

2 場 所 産業高校会議室

3 出席者

(1) 学校協議会委員 (50音順 敬称略)

産業高等学校同窓会副会長 北野 好美

岸和田市立中学校校長会会長 阪田 浩一

JFE継手株式会社 信貴 政則

産業高等学校PTA会長 藪 耕紀

(2) 学校

校長 楠戸 啓之

全日制教頭(司会) 大西 敦子

事務長(記録) 樋口 泰城

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 学校教育自己診断

○ 大西教頭

(診断結果は、ホームページの学校教育自己診断に掲載しています。)

(委員) コロナ禍で学校での活動に制限がかかったため生徒が可哀そうに思いました。産高祭等の行事が縮小、中止になって特に3年生が可哀そうだと感じました。ただそんな生徒を支えてくれた先生方には感謝しています。

(事務局) PTAの活動においても、例えば産高祭の規模縮小のため、PTAのバザーが中止になった。となると来年度バザーを知っているのは、新3年生の保護者のみとなってしまいます。それは、大変な負担になると思います。これは、生徒にも同じことが言えます。行事を知らない(経験していない)生徒たちが、今まで通りのレベルの高い行事を行えるのかとの不安があります。

(委員) 修学旅行の中止以外にどのような行事が行えなかったのですか。

(事務局) まず6月の合唱コンクールが中止、産高祭と体育祭は規模縮小、校外学習は、延期のうえ実施、マラソン大会は中止、3年生を送る会は3年生のみ、卒業式も3年生と保護者のみで行いました。他に漢江メディア高校との姉妹校交流も中止になりました。

(事務局) 6月の合唱コンクールは、クラス替え後の最初の行事となるため、生徒たちが一つの目標に向かって力を合わせ、いいクラス作りができる大切な行事でした。また、3年生のレベルの高い合唱を1、2年生が体感できなかったことは残念です。

(委員) 来年度もこのような状況でどの様にするのがいいのでしょうか。

(事務局) 来年度は、感染症対策を徹底し、なるべく行事を行えるようにしたいと考えています。

(4) その他

第2回(書面開催)の「本校の進路指導」に関するご意見、ご質問に対する回答

○ 大西教頭

Q1. 家庭の事情により就職希望者が求人募集の減少により専門学校に進路変更にもなるのでしょうか。

A1. 求人が減っているから専門学校へという選択だけではありません。希望する職種の求人が無いので別の職種を選んで就職するという生徒もいます。

Q2. SE(システムエンジニア)、PG(プログラマー)に興味のある生徒は学年で何名位いますか?

A2. SE、PGに興味のある生徒は、就職希望者の中では4~5名です。

Q3. 大学進学者の内、学部(職種)に拘る生徒は何パーセント位ですか?

A3. 本校の指導は、何を学びたいと思って大学へ進むのかを考えさせることから始まります。「行ける」大学ではなく「行きたい」大学に挑戦するように指導しているので、学部への拘りは100%と言えます。

Q4. 製造現業職を嫌う理由は何でしょうか?

A4. 交代制で夜勤があることが多い点が理由かと思われます。ただし、その場合は手当等が支給されるので、積極的に希望する生徒も一定数居ることも確かです。

Q5. 毎年、和歌山大学に推薦で3人程進学できると聞いていますが、これはやはり学力の上位の者だけですか。また、この事は生徒全員が知っているのでしょうか。

A5. 和歌山大学の推薦条件は、評定平均値4.0以上で、1校から3名までとなっており、大学進学希望者向けのガイダンスで、また、HRで知らせています。学校推薦型選抜(旧公募制)なので、指定校推薦ではなく、受験しても不合格になっている者もいます。他の国公立大学の推薦についても、3年生大学希望者には一覧表を配布して告知しています。

以上

19時10分 終了